

有田川町議会広報

かわら版

第64号

令和4年1月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



有田川町議会 検索

4年間ありがとうございました



[令和3年11月30日撮影]

発行/有田川町議会 発行責任者/議長 森谷 信哉 編集/広報広聴常任委員会 印刷/協栄印刷

〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町大字下津野2018番地4 TEL: 0737-22-3294(議会事務局) FAX: 0737-52-2198

議会の役割を果たす

議長 森谷 信哉



新年あけましておめでとうございませう。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大は有田地域にも及び、不安な思いをされた方も多かったと思います。

生活のさまざまなところで影響を受け、人々の意識や行動の変容で生活も大きく変化いたしました。

一日も早く感染が終息し普段の生活が戻ってくることを願っています。

また、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)でも示されているような課題のほか、過疎・交通・医療・産業等、地域

ごとの問題など、我々の生活は常にさまざまな課題に直面しています。

今、地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増す中で、私たち議会は、これらの課題に積極的に取り組み、住民の福祉向上のため、全力で取り組んでいきたいと思ひます。

今年、有田川町として5度目となる町長選挙、町議会議員選挙が実施されます。

今後の町政を左右する大切な選挙となります。棄権することなく、皆さま方の清き一票を投じていただきたいと思います。

結びに、皆さまのますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

今期最後の一般質問に7人が登壇！

令和3年第4回定例会の一般質問は11月25日に行われ、7人の議員が登壇しました。

多くの傍聴者の中で行われた、今期最後の一般質問。傍聴を希望していても、平日の日中開催ということでお越しいただけない方もおられると思います。現在、本議会の内容をインターネットで録画配信しており、各議員の全質問を視聴することができます。パソコンやスマートフォンなどからお気軽にぜひご覧ください。

一般質問

7人の議員が登壇

| | | |
|---------|-----------------------|-----|
| 殿 井 堯 | 通学路の安全対策は進んでいるか | P 3 |
| 椿 原 竜 二 | 日本農業遺産の認定は、目的ではなく手段だ！ | P 4 |
| 岡 省 吾 | 5期目町長選に挑む中山町長の所信を聞く | P 5 |
| 小 林 英 世 | 有田川町に災害拠点病院を | P 6 |
| 増 谷 憲 | 森林整備で災害リスク低減と林家の所得向上を | P 7 |
| 堀 江 眞智子 | 早急に有田に産科を！ | P 8 |
| 佐々木 裕 哲 | 清水行政局長の本会議出席を | P 9 |

※各議員ページのQRコードを読み取ると一般質問の動画を視聴することができます。



殿 井 堯

通学路の安全対策は 進んでいるか

問 通学路の安全対策は、これまで私や同僚議員が取り上げてきた過去に問題があった通学路は改善されたが、いまだに町道御霊小東線の通学路は改善されていない。安全対策の進捗状況は。

また、新たに問題が生じている通学路や危険な通学路を把握しているのか。

答 町道御霊小東線の通学路対策は、当初グリーンベルトでの対応を考えていた。しかし、県道バイパス側から側溝に「ふた」ができるようになった。令和4年度に整備し、グリーンベルトも設置したい。通学路の安全対策は



改修が待たれる町道御霊小東線（庄地内）

各学校をはじめ、PTAや子どもサポーターなどの協力を仰ぎながら、定期的な見守りや点検などをしていただいている。

横断歩道の白線が消

問 通学路に立木が崩さっていた箇所に対応を求めていたら、早々に現場を見て改善してくれた。

今後も早急に対策を協議できる場をもってほしいがどうか。

答 月2回内部会議を持ち対応できるようにしていく。

ふるさと納税の 取り組みは

問 ふるさと納税は昨年、4億8400万円を超えた。令和3年度は20億円目標を立てて4人体制で行っていると聞いている。

答 令和3年4月から10月末時点で、本町の寄附額は約1億8905万円。昨年同時期比で、約18%の増加である。

現段階での寄附額は、

令和3年4月から10月末時点で、本町の寄附額は約1億8905万円。昨年同時期比で、約18%の増加である。

問 有田郡市の昨年度寄附額はどうか。

答 左表のとおり

| | |
|------|------------|
| 有田川町 | 約 4億8412万円 |
| 有田市 | 約40億9823万円 |
| 湯浅町 | 約33億9675万円 |
| 広川町 | 約 2億7919万円 |

問 今後の課題や寄附者との間でトラブルなどの問題はないのか。

答 おもな返礼品は、ミカンなどの青果であり、天候不順により、見た目や味、腐りなどご意見をいただくことがある。

これに対して返礼品を取り扱う事業者と情報を共有し、寄附者にはご理解をいただくため、随時対応している。

日本農業遺産の認定は 目的ではなく手段だ!



椿原 竜二

問 予定しているロゴマークを使用できる対象者の範囲と使用開始時期は。

答 農業遺産推進協議会にてポスターやパンフレットを作成し、各種イベントでPRを行っている。両システムのロゴマークを公募する予定である。

問 本年2月、本町から「聖地高野山と有田川上流域を結ぶ持続的農林業システム」および「有田みかんシステム」が日本農業遺産に認定された。認定後、9カ月ほど経過するが、取り組みや活動内容は。

答 当該地域の農業生産者である。また、その生産物を使用した加工業者や販売業者で検討中である。使用開始時期は来年度の出荷に間に合うように進めていく。

問 日本農業遺産の認定という付加価値を上乘せし、ブランド力・販売価格の上昇に期待をしている。日本農業遺産の認定という手段を活用して、守られてきた伝統産業の継承など、さまざまな目的に向かって取り組むことが重要である。町長の見解は。

答 日本農業遺産の認定を活かして、課題に取り組んでいかなければ、何も変わらないと思っている。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら近隣市町と、観光や地域経済の発展、有田みかんの価格向上に向けて取り組みたい。



令和4年度の 予算編成は

問 ふるさと納税の使い方は。
答 各部で新規事業を提案してもらい、庁議で検討しながら決める。

- ・しみず温泉整備事業
 - ・移住就業支援拠点整備事業
 - ・藤並小学校増築事業
 - ・吉備中学校武道場空調の整備
- また、新型コロナウイルス感染症拡大による経済対策は、重要課題として取り組んでいく。

問 事業の見直しは。
答 事業の内容や効果をすべて再評価し、町民のニーズや時代に即した内容に改善する。

問 重点施策には、地域再生マネージャー関連事業もあるが、来年度の考えは。
答 来年度も、地域再生マネージャーの力を借りて進めていきたい。

問 重点施策は、
答 具体的には、



岡 省 吾

5期目町長選に挑む 中山町長の所信を聞く

問 災害に強いまちづくりに向けての考えは

答 国道や主要県道の整備を進め、インフラ整備を強化したい。特に県道海南金屋線の糸野・徳田間の橋梁を含めた延伸事業化と国道480号、424号の整備促進に努める。

河川は減災・防災の観点から堆積土砂の撤去を。

また、公共下水道と農業集落排水の統合や、上水道の新浄水場建設に向けて取り組む。

問 コロナ禍で弱っている地域社会の復調に向けた取り組みは。

答 これまで新型コロナウイルス感染症の経済対策を講じてきた。今後も引き続き、

国・県の施策に柔軟かつ迅速に対応し、コロナ禍で疲弊した地域経済の回復に向けて取り組む。

また、自粛を余儀なくされている町イベントなども、感染防止策を講じながら実施し、地域社会が通常に戻れるよう取り組んでいきたい。

問 人口減少問題に対する見解は。

答 長期総合計画では、人口ビジョンを2060年2万人で策定している。

目標を達成するため、さまざまな取り組みを講じているが、現状は人口減少が進んでいる。

現在、進めている施策を基本として、住民のニーズや時代に即した内容に改善を図り、事業の見直しを行いながら人口減少対策に取り組んでいきたい。

問 町長のサポート役として存在感の大きい副町長。

町進展に向けて期待するところは。

答 これからも知識や経験、そして長年、和歌山県職員として培ってきた人脈を活かして、直面している行政課題の解決に手腕を発揮していただけることを期待している。

問 均衡ある町の発展として、吉備・金屋・清水、各地域の特性に応じた振興策をどう考えているのか。

答 合併から16年が経過する。3つの地域が均衡ある発展を遂げ、どの地域に住んでも住み続けていきたいと思えるようなまちづくりをめざしてきた。

吉備・金屋の平野部



では、地域の実情に応じた生活環境基盤の整備を推進し、住みよい住宅の確保や転入者の増加に努めたい。

金屋・清水の山間部は、基幹産業である農林業を中心とした産業の活性化に努める。

特に農林業の後継者育成や若者の雇用機会を創出したい。

また、有田川町の魅力を最大限に活用した観光・交流施策の拡充を図り、地域の特性を活かしたまちづくりを進めたい。



有田川町に災害拠点病院を



小林 英世

問 温暖化が加速していると言われていて、COP26も終わったが各国の足並みはそろっていない。

答 悲観的な専門家も多いがどのように認識しているのか。

問 温暖化に対する防災の観点からどう対応するのか。

答 河川の整備が重要。今後、状況を注視しながら有田川河川改修促進協議会などを通じて適切な対応を県に要望する。



県立こころの医療センター

問 本町は県の中央部に位置し、災害に強い。また、県道海南金屋線の整備も進み、橋の計画も現実味を帯びてきた。

答 県下の災害拠点病院のほとんどが沿岸部にあり、津波や浸水被害が危惧される。こころの医療センターを災害拠点病院の中心とするよう、県に強く要望してはどうか。

問 近隣の町と協議し連携して要望したい。

問 温暖化対策で欠かすことができないエネルギー問題。風力でも太陽光でも大規模なものは環境への負荷が大きい。エネルギーの地産地消をめざすべきだ。

答 本町は太陽光パネル設置に補助金を出している。蓄電池設置にも補助してはどうか。

問 検討はしているがまだ蓄電池にも不透明な部分もある。もう少し研究したい。

森林環境税とは

問 令和6年度から課税される森林環境税とはどのようなものか。

答 個人住民税の均等割の枠組みを用いて年額1000円を徴収する。森林は温暖化防止、国土の保全や水源の涵養など公益的機能を有する。その森林整備などに必要な地方財源を安定的に確保するため

問 今後の展望は。

答 課題も多いが議会との連携を図りながら進めていきたい。

ペーパーレス化を進めるために

問 デジタル化が急速に進んでいる。議会もペーパーレス化に向けて検討を続けている。当局の考えを問う。

答 タブレット導入によるペーパーレス化は議会運営の効率化、事務作業の軽減、コスト削減の効果があると考えている。



増谷 憲

森林整備で災害リスク低減と 林家の所得向上を

問 NPO法人「自伐型林業推進協議会」が最近の災害調査から森林整備のあり方が関係している報告書を出している。認識はどうか。

答 報告がすべて正しいかどうかは分からない。県の指導を受けてやっていく。

問 林野庁は林地開発許可制度の厳正な運用通知を出している。認識はどうか。

答 山地災害のリスクが高まっている中で未然防止のために出されている。

問 林家が利益を上げられる施策はどうか。



答 令和4年度から広葉樹林転換事業補助金を制度化する。

問 風倒木対策はどこまで進んだか。今後の取り組みはどうか。

答 林家の意向を聞き進めている。約5割の進捗状況。今後も県と協議して進めていく。

問 森林保険の活用はどうか。桐生市は山火事の際に1億1千万円の保険金が入っている。保険料は約237万である。

加入促進はどうか。

答 実績がなく、加入は個人に任せたい。町有林は研究して検討したい。

問 ドリームウインド和歌山有田川・日高川風力発電計画での県知事意見で「保安林を壊してまで設置すべきでない」という。認識はどうか。

答 環境に重大な影響の恐れがあることから影響を回避か低減できる具体策がない場合は、事業の廃止も含めて抜本的な見直しを求めると認識している。



飲料水供給施設

飲料水供給施設
修繕補助増額を

問 飲料水供給施設の修繕補助率50%から更に引き上げてはどうか。

答 補助を利用していない戸数が150戸程度ある。平等性を考え、補助率は現状の50%が妥当だと考える。

問 逆にそういうところが問題であるので検討してはどうか。

答 修繕の補助率、また維持管理も今後検討していく。

子育て支援の
更なる充実を

問 国保税の人数割額は来年度から未就学児まで半額補助となる。高校卒業まで対象を引き上げてはどうか。

答 更なる引き上げを検討する付帯決議もあり、国の動向に合わせしていきたい。

問 憲法26条から義務教育は無償となっている。学校給食は教育の一環である。文部科学省は給食無償化の成果を出している。無償化してはどうか。

答 今後、情勢を見ながら、当面は負担していただきたい。

問 出産費用が上昇している。出産費用と出産育児一時金に差額が約10万円になっている。一時金を増額してはどうか。

答 国の動向に合わせていきたい。

早急に有田に産科を!



堀江 眞智子

問 産科医の招致に向けてこれまで何度も一般質問を行った。9月議会以降の働きかけや動向はどのようなものか。

答 有田に産科がないことは困ったことである。産科医の招致は一生懸命取り組んでいるが、見つからないのが実情である。



9月議会後に、1市3町で県選出の国会議員に要望書を提出した。

問 出産時であっても救急車が必要な場合がある。

自家用車などで産婦人科に行けない場合、救急車を利用できないのか。

答 救急搬送が必要なときは、現在も対応している。今後その方向で対応していく。今後、有田管内で出産できなくなり、産科救急事案の長距離救急搬送、件数の増加も考えられることから、対応能力の向上に努める。



学童保育料の減免制度を

問 きょうだいで学童保育所に通っている場合、教育費の負担が大きい。

負担軽減のため、利用料を減免する考えはないか。

答 学童保育は、公設民営で実施している。子ども二人が通っている場合の減免制度は、各運営団体の運営規則などによりそれぞれ規定されている。県下の状況を調べ対応していきたい。

通学路の整備を

問 危険な通学路の整備は。

答 教育委員会・学校・警察・道路管理者が連携し、通学路の合同点検を実施している。道幅が狭く歩道と車道の区別がつきにくい

箇所や、横断歩道の白線が消えている箇所など、対策が必要な箇所をリストアップした。今後対応していく。

問 リストにはないが、藤並小学校付近の水路の柵のところが危険である。対策はどうか。

答 確認して検討する。



町道一ツ松天満線 (下津野地内)



佐々木 裕哲

清水行政局長の 本会議出席を

問 本会議上での質疑や一般質問で清水行政局内に関係することも多いが、議場に出席できる体制でない。

清水地区は吉備、金屋と違った産業形態をなしている。

地域のことを一番知っている行政局から出席できないことはいかがなものか。

局長を部長待遇にできないのか。

答 行政局長は清水地域全般を把握する管理職であるので今後の議会には出席できるように進める。

部長待遇は、今後検討する。



藤並保育所の職員専用駐車場

藤並保育所の 職員用駐車場は

問 職員50人を3力所の駐車場に分散している。近くの駐車場は雨の日はぬかるみがひどい。バラスやシートで早急に対応できないのか。

答 地主と相談しながら対策を考えていく。

林務課を

清水行政局に

問 産業振興部内の林務課。本来一番関係のある清水行政局内に設置すべきだと思いが。

答 今は、林務課を清水行政局へ設置する予定はない。

しかし、令和4年度から清水行政局に林務担当者を配置し、体制を強化する。

これまでの一般 質問を振り返って

問 過去の提案質問に対する実績と今後の予定は。

答 保田紙の利用は、生産者の課題もあり小規模な学校や感謝状に一部利用している。

答 可燃ごみ収集業務の委託は、競争入札により適正な価格で行つ

ている。

答 ふるさと納税は、応援班をつくり積極的に取り組んでいる。

答 原付バイクのご当地ナンバーは、33%の利用があり良好である。

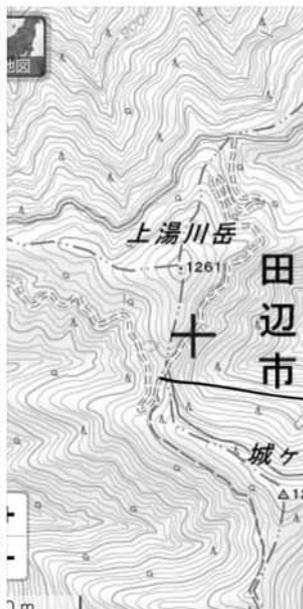
答 旧高野街道の道路標識は、現在2カ所設置しているが引き続き設置する。

答 10年、20年先を見据えたまちづくりは、

特に医療費助成制度、子育て支援、定住移住対策、下水や道路の住環境整備など将来の人口問題に取り組んでいる。

答 役場職員の障害者雇用率は、今後上回るように取り組む。

答 上湯川岳は、国土地理院標準地図に今年明記された。



決算認定

決算総額300億円を超える！

～新型コロナ対応で収支増加～

令和2年度の決算額は、一般・特別会計合わせて、歳入総額313億6528万円。歳出総額306億5766万円となり、翌年に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支総額は4億4546万円の黒字となりました。

町財政は、国の財政指標に当てはめると、おおむね良好と判断しました。しかし、新型コロナ感染症対策関連事業で国庫支出金などの依存財源が増加し、自主財源比率が6.1%低下しました。

令和2年度 おもな会計の決算状況

| 会計区分 | | 収入済額 | | 前年度比 | | 支出済額 | | 前年度比 | |
|------|----------|------------|-----------|--------|------------|-----------|--------|------|--|
| 一般会計 | | 209億7518万円 | 47億3076万円 | 29.1% | 203億5346万円 | 45億6703万円 | 28.9% | | |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 34億4347万円 | ▲1億8194万円 | -5.0% | 34億3904万円 | ▲1億7630万円 | -4.9% | | |
| | 介護保険事業 | 31億8627万円 | ▲1197万円 | -0.4% | 31億2300万円 | 1534万円 | 0.5% | | |
| | 後期高齢者医療 | 7億9896万円 | 5656万円 | 7.6% | 7億8855万円 | 5519万円 | 7.5% | | |
| | 簡易水道事業 | 5億3592万円 | ▲7877万円 | -12.8% | 5億3294万円 | ▲8041万円 | -13.1% | | |
| | 農業集落排水事業 | 2億9855万円 | 2411万円 | 8.8% | 2億9855万円 | 2411万円 | 8.8% | | |
| | 公共下水道事業 | 20億3394万円 | 9779万円 | 5.1% | 20億3394万円 | 9779万円 | 5.1% | | |

住民税務部

問 滞納管理システム導入による職員の残業時間削減などの効果は、半分になった。

答 半分になった。

問 国民健康保険税滞納者に対する保険証の取り扱いは、

答 納付状況により、短期で保険証を出している。

問 被保険者の減少により予想される影響は、

答 被保険者数は、

問 マイナンバーカードの発行枚数や普及率が低いと思うが見解は、

答 県下でも低い。努力はしているが伸び悩んでいる。

問 軽減世帯が多い状況だが認識は、

答 低所得世帯が多い国民健康保険の構造的な課題がある。

問 コロナ関連経費で、公園のウッドデッキの取り替えを行っているのはなぜか。

答 木材の流通を促すため。

問 町の紹介冊子を他の自治体の施設に置いてもらったかどうか。

答 検討する。

総務政策部

問 公園の遊具点検はどうしているのか。

答 毎年点検している。

問 路線バス定期券購入補助事業は、執行額や実績が少ないが、どう考えているか。

答 学生以外への周知も検討する。

各局局に対し、数多くの質疑がありました。誌面の都合上、一部抜粋して掲載いたします。

令和3年第4回定例会の採決状況 (誌面の都合上、賛否の分かれた議案のみ掲載します) (11月16日)

| 議案名 | 結果 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|---|----|----|---|----|---|
| | | 堀江 | 増谷 | 椿原 | 中島 | 星田 | 片畑 | 谷畑 | 小林 | 殿井 | 佐々木 | 岡 | 森谷 | 新家 | 湊 | 亀井 | |
| 令和2年度 一般会計歳入歳出 決算 | 可決 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出 決算 | 可決 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出 決算 | 可決 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度 介護保険事業特別会計歳入歳出 決算 | 可決 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度 公共下水道事業特別会計歳入歳出 決算 | 可決 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

(注) 森谷信哉議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

消防本部

問 救急出動の件数が減少している要因は。
答 人流の減少によると考えられる。

建設環境部

問 農業集落排水の各施設接続率は。
答 左表のとおり。

令和2年度末

| | |
|------|--------|
| 田殿 | 82.28% |
| 吉原 | 92.13% |
| 徳田 | 86.85% |
| 吉見 | 84.09% |
| 熊井・奥 | 79.14% |

問 地域と継続的に危険度など優先順位を相談しながら対応している。
答

問 指定ゴミ袋の販売実績および在庫の状況は。
答 131万7千枚。納品には2カ月程度は要するので、ある程度の在庫は保有している。

問 水道管の橋梁添架部分の点検方法は。
答 目視により行っている。

問 危険な空き家があればどう対応しているか。
答 所有者不明の物件は、相続人などを調べ連絡している。

問 不良空家除却補助金件数が減少しているが、実態はどうか。
答 相談件数は年々増えている。

問 毎年区から提出される要望書への対応は。

問 犬猫の去勢・避妊手術助成補助金は。
答 下表のとおり。

| | | |
|----|--------|--------|
| | 犬 | 猫 |
| 去勢 | ¥6,000 | ¥4,000 |
| 避妊 | ¥8,000 | ¥6,000 |

産業振興部

問 「農業次世代人材投資事業」経営開始型の補助率は。
答 国の補助100%。

問 農家数を減らさないようにする考えは。
答 中心的な担い手の育成。また、常時雇用人員や繁忙期の作業人員の確保が重要と考えている。

問 鳥獣害対策では、猟友会の日当はいくらか。低いのではないかと。
答 6000円である。検討する。

問 熊が「わな」にかかった場合、措置に時



期間延長が求められる花の里河川公園

問 間がかかっていると思うが。
答 県内に獣医師と銃の両方の免許を持つている方がいない。

問 花の里河川公園キャンプ場の利用期間（4月から9月）を延長する考えは。
答 費用対効果を考え、3月から11月への延長を検討していく。

問 花の里河川公園はインターネット予約などに対応しているのか。
答 今は電話とFAXのみである。インターネット予約などの実施を検討したい。

教育部

問 不登校児へのカウンセリングの効果は。
答 複合的な要因が考えられるのでカウンセリングだけでなく、関係機関と連携しながら対応している。

問 学童保育委託料の算定方法は。
答 人数だけでなく開所日数などの基準により算定している。

問 図書館事業で電子書籍の貸出数が少ないようだが認識は。
答 まだ十分な書籍を用意できていない。電子書籍になっていないものもあり、内容を分析する。

問 全国大会に出場する選手に対する支援はあるのか。
答 要件を満たしていれば、町からの支援がある。

問 児童手当給付で、家庭内暴力などが原因で、住所変更ができない方への対応は。
答 本人からの申し出があれば審査のうえ対応する。

福祉保健部

問 乳幼児健診未受診者に対しフォロワーはどうなっているか。
答 保健師が把握し対応している。

問 児童手当給付で、家庭内暴力などが原因で、住所変更ができない方への対応は。
答 本人からの申し出があれば審査のうえ対応する。

新型コロナウイルス感染症対策事業に 決算総額約37億円!!

有田川町すまい給付金事業

1254万円

令和2年1月2日から令和3年3月31日に、町内に住宅を新築、新築住宅を取得し、居住した申請件数114件に対し1件11万円の給付金を給付。

特別定額給付金事業

26億2933万円

特別定額給付金1人10万円を26,206人に給付。(給付対象者 R2.4.27時点で住民基本台帳に登録されている者26,239人)事務費8,730,259円。

上水道企業会計繰出事業 簡易水道特別会計繰出事業

5250万円

水道料金基本料3ヵ月(7~9月分)の減免。

上水道 20,311件 **簡易水道** 12,644件
減免にかかる料金システム変更料99万円

出産育児特別給付金事業

1837万円

支給件数：181件、支給対象児：183名
対象児

令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生し、出生日から申請日まで引き続き有田川町住民基本台帳に登録されている子。

給付金額：対象児1人につき10万円。

高齢者インフルエンザ予防接種助成事業

961万円

助成実績者数6,156人。

介護入所施設デジタル面会対応実施支援事業

208万円

介護入所施設等での、新型コロナウイルス感染症対策として、デジタル面会対応を実施する事業者へ補助を行い、感染リスクの軽減に努める。

(上限30万円 7施設が対象)。

過剰木材在庫緊急対策事業

2413万円

- ・鳥屋城山遊歩道ウッドデッキ他取替工事
- ・田口砂防公園デッキ材取替え工事
- ・あさぎりの裏側に木柵を設置
- ・ALEC ウッドデッキ修繕
10,159,600円
- ・明恵の里スポーツ公園 木柵修繕
3,179,000円
- ・明恵の里スポーツ公園 ベンチ修繕
594,000円

旅行等移動補助金

314万円

貸切バスなどによる旅行の借上費1/2を補助(25件)。

有田川町応援クーポン券配布事業

2億6929万円

目的 住民への生活支援と、売上げが落ち込んでいる町内事業者への景気対策を行うため、すべての住民に対して1人10,000円のクーポンを令和2年6月に配布した。

成果・実績 総額262,400,000円（26,240人）の発行に対し、換金総額は259,910,500円で換金率99.05%となった。業種別の内訳をみると、小売業（食品）が42%を占め、続いて飲食業20%、小売業（その他）が16%となった。また、クーポンが消費された地域別にみると、吉備地域：82%、金屋地域：10%、清水地域：8%となった。換金率の高さからも、住民の生活支援と事業者の景気対策につながったものと考えられる。

有田川町応援クーポン券 配布事業【第2弾】

8887万円

目的 第2弾として令和3年2月に配布。

成果・実績 総額261,050,000円（26,105人）の発行に対し、令和3年5月末現在の換金総額は160,728,500円で、換金率は61.57%となっている。

有田川町事業継続応援補助金事業

1613万円

減少した売上げ高を回復させるため、新たな事業を実施し事業継続を行う事業者に対し助成を行った。（補助率2/3、上限199,000円）。

農業者41件（6,115,000円）、商工業者65件（10,017,000円）に対し、コロナ対策の新たな取り組みを支援。

有田川町緊急持続化給付金事業

1億245万円

目的 国の持続化給付金に先立ち、1～4月の売上高を比較対象とし、コロナ禍の影響を受け経営が著しく悪化している事業者に対して、町単独事業として迅速に給付金を支給した。給付額は、50%以上減少／法人30万円・個人事業者15万円。80%以上減少／法人100万円・個人事業者50万円。

成果・実績 302件（50%以上減少166件・80%以上減少136件）に対し、総額102,450,000円を給付金し、景気の下支えを行った。業種別の内訳をみると、サービス業および飲食業がともに30%、販売小売業が17%、建築業が8%と続き、農業者は4%となった。

公立学校情報通信ネットワーク 環境施設整備事業

1億1475万円

校内無線LAN環境整、電源キャビネット、大型掲示装置整備。

G I G Aスクール 端末購入事業

1億2705万円

タブレット端末購入
2,123台、および初期設定。

藤並小学校の増築に向けて 新型コロナウイルスワクチン3回目接種に向けて

令和3年第4回定例会は、11月16日から30日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案および、決算審査特別委員会に付託された令和2年度一般会計決算ならびに各特別会計決算を原案の通り可決しました。

一般会計補正予算 1億3919万7千円を追加

| 項目 | 金額 | おもな事業内容 | (単位：万円) |
|-----|---------|---------|-------------------------------|
| 民生費 | 障害者福祉費 | 4500 | 障害福祉サービス費（居宅介護、グループホームなど利用者増） |
| | 児童措置費 | 4600 | 児童発達支援事業給付費補助金（利用者の増加） |
| 衛生費 | 予防費 | 2020 | 新型コロナウイルスワクチン接種委託（3回目接種） |
| | 保健センター費 | 340 | 清水保健センターの雨漏り修繕費ほか |
| 商工費 | 観光費 | 77 | 鳥屋城山のトイレ修繕 |
| 教育費 | 委託費 | 242 | 藤並小学校の増築に係る設計監理委託料 |
| | 備品購入費 | 393 | 各小学校へ机・イスの購入など |
| | 社会教育費 | 150 | 見まもり隊自動車購入 |
| | 学校給食費 | 163 | 給食センター排水管修繕費 |

一般会計 補正予算

問 定住奨励金75万円を追加する理由は。
答 当初予算で50万円と見込んでいた。不足する見込みとなり増額した。

問 児童発達支援事業給付費補助金4600万円、内訳とセルフプランの説明、利用者の見込みはどうか。
答 利用者数の増と利用できる事業所が増えた。利用者が希望する生活やサービスが記載され、利用者を支援するのがセルフプラン。利用者は現在21人。

問 新型コロナウイルスワクチン接種、直近の接種率はどうか。
答 令和3年11月21日現在、1回目87・4%、2回目86・4%。

問 今後のワクチン接種の計画はどうか。
答 令和4年1月から

医療従事者。2月から高齢者が接種開始予定。

問 ワクチン接種は任意である。未接種による不利益な取り扱いはされないか。
答 ワクチンを接種しないことによる不利益な取り扱いはない。

差別などの事案があれば、健康推進課にて相談を受け付ける。

一般会計補正 予算(専決処分)

- 6566万円
- 8月前線豪雨により災害が発生し、緊急に災害復旧事業を実施する必要があるため。
- ・農地災害 畑11件 田2件
- ・農業用施設災害 農道1件



西山農道災害現場（賢地内）

〈条例の一部改正〉

◎国民健康保険条例

問 今回の改正で出産育児一時金の額はどうか。産科医療補償の変更された内容はどうか。

答 産科医療補償の掛金が1万6千円から1万2千円に引き下がり、本人支払分で現行40万4千円から40万8千円に増額された。

産科医療補償制度は、令和4年1月から出産した子どもから認定基準が緩和され、在胎週数28週以上となった。

◎水道事業及び簡易水道事業の設置及び管理に関する条例

修理川飲料水供給施設を吉原地区簡易水道に統合する。

〈委員の任命〉

◎教育委員会委員

前任氏(金屋)



〈道路線の認定〉

◎町道東長澤線(徳田)

延長141m
幅員5.8m～12.9m



【討論】賛否が分かれる！

反対

巨大風車建設で健康被害、騒音、災害などの問題に住民の皆さんが大きな不安を持っておられることは十分認識をしている。

しかし、私の住んでいる地区には住民全員が反対した環境センターがある。

人間が住んでいる以上、誰かが引き受けなければいけない。また、類似施設の視察調査

も行った。

自然エネルギーの大切さを学ぶ講演会が、1月に開催される。

噂だけで反対するのではなく、もう少し深掘りしてはどうか。

今回の請願書を踏まえ、科学的かつ明確な事実関係を議論すべきである。

(林 宣男議員)

(仮称) 有田川海南風力発電

事業に反対する決議書



賛成

巨大風力発電計画にはこれまで関係市町の住民が反対している。

また、当議会でも林地開発の許可をしないよう知事に意見書を全議員賛成で提出している。

事業者は明確な説明ができていない。

経済産業省は、住民合意を重視している点からみて、住民合意のない建設はできない。よって決議案に賛成する。

(増谷 憲議員)

賛成

この事業は、有田川町民が要望しているものでない。

企業が営利目的で押し進めているものである。

本事業予定地の周辺地区は、海南市を含め団結して建設反対のため、看板を立て、知事に要望書を持って行くなどあらゆる方法で反対運動をしている。

住民の声を重視し、住民の苦悩を払拭するのに、この議決は大変重要と考え賛成する。

(谷畑 進議員)

令和3年第4回定例会の採決状況 (誌面の都合上、賛否の分かれた議案のみ掲載します)

(11月30日)

| 議案名 | 議員名 | 議員名 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|
| | | 堀江 | 増谷 | 椿原 | 中島 | 星田 | 片畑 | 谷畑 | 小林 | 殿井 | 佐々木 | 森岡 | 新家 | 亀井 |
| (仮称) 有田川海南風力発電事業に反対する決議書 | 結果 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 「所得税法56条の廃止を求める請願書」 ◎委員会不採択に対して | 結果 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

(注) 森谷信哉議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

有田川町手話言語条例を制定！

「手話は言語である」との認識に基づき、手話への理解および普及に関して基本理念を定め、町の責務ならびに町民の役割を明らかにするために制定した。

- 問** 関係団体や役場内で手話通訳できる方は何人か。各庁舎で対応できるか。
答 日常会話程度でできる職員は吉備・金屋庁舎で3人。今後は手話ができる職員を少しでも増やしていけるよう取り組む。
- 問** 手話を習得する機会の確保は。
答 講習会や奉仕員養成講座がある。また、有田振興局での手話講座や公民館の手話サークルで学べる機会がある。町職員にも参加を促していきたい。
- 問** 手話通訳者の確保はどうか。
答 手話通訳は「県聴覚障害者協会」から派遣してもらう。県下には、登録されている派遣可能な手話通訳士は39人。手話通訳者は48人いる。
- 問** 事業者への協力の働きかけが必要ではないか。
答 事業者のみならず、町民全体への協力と働きかけが必要と考えている。安心して暮らせる有田川町をめざし、事業者を含め住民への理解・啓発に努めたい。
- 問** 手話マークや筆談マークの掲示は。
答 手話マークを掲げられるよう、手話習得職員を一人でも多く増やしたい。窓口に「耳マーク」を掲示している。筆談が必要な場合は申し出ただく。



～有田川町町長選挙及び議会議員一般選挙の日程が決まる～

- ・立候補予定者説明会 令和4年1月6日(木)
- ・告示日 令和4年1月25日(火)
- ・投開票日 令和4年1月30日(日)

*令和3年12月1日現在の選挙人名簿登録者数
男：1万0227人 女：1万1642人 計：2万1869人

TOPICS トピックス

逝去



湊 正剛 議員

去る12月5日、湊正剛氏のご逝去されました。

湊氏は、平成7年に旧吉備町議会議員として初当選。通算26年以上もの長きにわたり、地方自治の発展のためにご尽力されました。

環境や災害などに深い造詣を持ち、豊かな経験と強い責任感のもとご活躍されました。

多年にわたり尽くされた多くの功績は、有田川町の今後の発展の上に、脈々と伝えられることと思えます。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

産業建設住民常任委員会

【商工観光課】

○しみず温泉の整備

○移住就業支援拠点施設の整備、運営

清水地域活性化のため、他所から人を呼べる対策を重視しながら進めるよう申し入れました。



高性能林業機械

【林務課】
(来年度予定事業)

○広葉樹林転換事業補助金

町内林業事業者が人工林の皆伐後、広葉樹林に転換することに補助金を交付。
(皆伐、植栽、獣害防止ネットに1/2程度の定額補助)

○研修生受入支援補助金

町内林業事業者の研修生受入れに対して、賃金、指導経費を支援。

○林業機械購入補助金

町内に主たる事務所を置く林業事業者、または有田川町産材認証システムに登録している製材所に補助金を交付。

【要望】

林業活性化にあたり無駄にならないように効果を望む。

【付託議案の審査】

○請願第4号

(仮称)有田川海南風力発電事業に反対の決議を求める請願採択 賛成全員

○請願第5号

所得税法56条の廃止を求める請願不採択 賛成少数

○議案第84号

有田川町道路線の認定 認定 全員一致

総務文教福祉常任委員会

【福祉保健部】

○新型コロナウイルス感染症の進捗状況

有田川町のワクチン接種率は、11月現在で約87%（県の接種率約81%）。
今後は3回目のワクチン接種に向け、準備が進められていきます。

○手話言語条例の制定

手話が言語であるとの認識に基づき、全ての町民が共生することができると地域社会の実現をめざした条例制定の説明を受けました。
町では、手話への理解・普及のため手話講習会などを開催し、聴覚に障害のある方のコミュニケーション支援を行うため「意思疎通支援事業」を実施しています。

【消防本部】

○消防指令業務の共同運営

和歌山県全域の119番通報を一元化する方向で現在、協議が進められているところがあります。
当初計画していた湯浅広川消防本部との一元化は、ひとまず保留することです。

【教育部】

○藤並小学校増築

藤並小学校で児童生徒数の増加が見込まれることから、教室が不足することが想定されるため、新たに2教室を増築する工事（令和4年度完成予定）を行います。



令和4年度に増築工事が予定されている藤並小学校



編集後記

**明けまして
おめでとーございませす。**

任期最後のかわら版第64号を一カ月早くお届けできたこと、大変うれしく思います。

記事の新鮮さを大切に
するため、関係皆さまの協力をいただき、限られた期間で作成することができました。

少しでも多くの方に読んでいただけるよう模索してありますが悪戦苦闘の繰り返しです。

この任期中、当委員会は次のような取り組みを行いました。

- ・ 編集ソフトの導入
- ・ QRコードの活用
- ・ 賛否の分かれた採決や討論の掲載
- 【ホームページ】
- ・ 録画配信
- ・ 政務活動費の実績掲載

QRコードはかわら版の表紙と一般質問のページに掲載しています。

スマートフォンやパソコンなどで簡単に定例会の様子をご覧いただけます。

より多くの方にご覧いただき、議会を身近に感じていただければ幸いです。

令和2年度から当委員会は広報特別委員会から広報広聴常任委員会に昇格しました。報(伝える)に聴(聞く)を加えました。この委員会が中からも外からも風通しの良い窓になればと思えます。
(小林 英世)

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- 小林 英世
- 椿原 竜二
- 中島 詳裕
- 星田 仁志
- 岡省 吾

◎は委員長
○は副委員長